

Green Age

vol.125

2026.1月号

1面…3学期始業式／共通テスト受験生激励会

2面…Scio／先生！オンをオシえて！

3面…部活動の活躍／全国大会を終えて（駅伝部・女子バスケットボール部・フェンシング部）

4面…大学入試・就職試験 速報／2月行事予定

鹿児島高校新聞・グリーンエイジ／第125号

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 / 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 / TEL.099-255-3211 / FAX.099-258-0080

focus the
KAKO

3学期始業式

1月8日（木）体育館に全校生徒が一堂に会して3学期始業式が行われました。式の中で校長先生は、「今年は60年に一度の丙午の年。新年をきつかけに丙午の歴史や干支について調べてみるのもおもしろいのではないかな。3学期は短い、3年生にとっては高校生活の集大成であり、1・2年生にとっては次の学年へのステップとなる大切な時。目標を持ち、時間を有効に使い1日1日を大切にしてほしい」と述べました。



focus the
KAKO

共通テスト受験生激励会

1月17・18日の両日実施される大学入学共通テストを受験する3年生を激励する会がありました。今年本校から受験するのは普通科69名、英数科90名の合わせて159名。会では和太鼓部の激励の演奏に始まり、まず受験生を代表して福盛琉心さん（3E2緑丘中）が「模試の結果に落ち込む時もあったが、周りの応援で乗り越えてきた。共通テスト当日はあきらめない強い気持ちと、これまで応援してくれた方々への感謝の気持ちをもって本番に臨みたい。」と力強く決意を述べました。校長先生からは「受験生のみなさんは授業、補習、模試と厳しい受験生活がんばってきた。これまでの就職内定率100％、総合型・学校推薦型の大学入試の好結果の勢いに乗って、ぜひ志望校合格を勝ち取ってほしい」と激励の言葉があり、進学指導主任の米澤先生は「不安や焦りがあるのはがんばってきた証拠。今から戦える、という顔にみんななっている。体調を万全にして共通テストを乗り切ってほしい」と激励しました。また、在校生を代表して三弧会会長の山崎文瑠さん（2E2清水中）は「先輩たちを心から応援しています」と述べ、最後に加治屋太智さん（2E1谷山中）のリードで応援のエルが贈られ、激励会は幕を閉じました。



グリーンエイジ
Green Age
～可能性の世代～

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これからの可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、「グリーンエイジ」と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいやさしい若者たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお願いします。



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語.science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

全学年、進路実現へ

三年生の皆さんは、共通テストを終え、国公立大学二次試験に向けて出願先を検討している時期ですね。私立大学の入学試験も、早い大学では一月下旬から始まります。この時期に最も大切なのは、進路について保護者としてしっかり情報を共有することです。募集要項や昨年度の合格者平均点などは、インターネットで容易に確認できます。限られた時間で行われる三者面談を有意義なものにするために、①国公立大学の前期・中期・後期のどこに出願するのか、②浪人も選択肢として考えるのか、この二点については事前に話し合っておくことを勧めます。不安や焦りを感じやすい時期ですが、全国の受験生が同じ思いで努力しています。決して一人ではありません。最後まで自分を信じ、挑戦を続けてください。

二年生の皆さんは、1月17日の進研模試を終えたばかりだと思いますが、次は2月7日(土)・8日(日)に実施される大学入学共通テスト模試が控えています。2月5日(木)から13日(金)にかけては二者面談が行われ、進路について具体的に考え、方向性を固める大切な時期となります。また、三月には小論文模試の受験も予定されており、すでに「三年生の0学期」は始まっていると言えるでしょう。1・2年次で受験した模擬試験の解き直しを行い、知識の抜けや弱点を再確認しておきましょう。そして三月までに全員、一度は志望理由書(図1)を書き上げ、担任に提出することを目標にしてください。

さい。一方で、これから経験する学校行事は、すべて高校生活最後のものとなります。一つ一つに全力で取り組み、前向きに楽しむことも大切です。

図1) 志望理由書

図2) 志望理由書作成MEMO

一年生の皆さんに、まず知ってほしいのは「大学入試制度」についてです。二月には、普通科・情報ビジネス科を対象に入試制度ガイダンスを行います。大学入試は高校入試と大きく異なり、一般入試か学校推薦型選抜かという単純な二択ではありません。また、大学ごとに入試方式や科目、配点が異なるため、早い段階から正しい情報を知ることが重要です。

模試などと思うような成績が出ないと志望大学の水準を下げてしまう傾向が見られるのもこの時期ですが、諦めるのではなく、自分の学習方法の見直しを行いましょう。学習には授業や塾で学ぶ「受動的学習」と、家庭学習や放課後の自習などの「能動的学習」があります。高校生活では、この能動的学習の時間をいかに確保できるかが学力向上の鍵となります。普通科選抜クラスや英数科で活用している「スコラ手帳」を積極的に使い、自分の学習時間を見える化していきましょう。ポランティア活動に積極的に参加したり、留学などを検討してみたりするのも良い時期です。未来探究などの授業にも主体的に取り組み、二年生で探究の花を咲かせてください。

進学指導部・土居綾子



【第9回】
藤谷 新平先生
たくろう

今回は情報ビジネス科学科主任の藤谷新平先生。先生のオシは「たくろう」。自分も!という生徒は多いのでは?

昨年末のM1グランプリで優勝を果たしたお笑いコンビ「たくろう」。決勝の舞台で披露された漫才は、大きな笑いとともに、言葉の力や向き合う姿勢の大切さを改めて感じさせるものでした。お笑いという枠にとどまらず、教育に携わる私にとっても考えさせられる点の多い漫才だったように思います。

決勝のネタは、ごく身近な会話から始まり、やり取りを重ねるうちに少しずつ話が食い違っていく展開で、観客をぐいぐいと「たくろう」の世界観に引き込んでいきました。中でも、「バリーヒルズ」という象徴的な言葉をきっかけに、会話が思わぬ方向へと広がっていく場面がありました。非日常的な言葉が登場しながらも、やり取りそのものは驚くほど日常的で、だからこそ観客は自然と引き込まれていったのだと思います。片方にとっては当たり前の感覚が、もう一方にはそうではない。その違いを一つ一つ確かめるように言葉を重ねる中で、違和感が少しずつ笑いへと変わっていききました。声を張り上げるわけでも、勢いで押し切るわけでもありません。相手の言葉を受け止め、間を大切にしながら会話を進めていく。その積み重ねが、会場全体の一体感を生み出していたように感じます。そこに共通して流れていたのは、「聞くこと」を土台にした対話の姿勢でした。

この姿勢は、学校生活のさまざまな場面とも重なります。授業中の発言、友人との会話、進路についての相談など、相手の話をどう受け止めるかで、その後の学びや人間関係は大きく変わります。一方的に伝えるのではなく、相手の言葉を踏まえた上で自分の考えを返す。その往復こそが、理解を深め、信頼を築いていくのだと思います。また、優勝後の言葉からは、結果に至るまでの長い時間と、決して順調ではなかった過程が伝わってきました。舞台上の数分間は、日々の試行錯誤や迷い、地道な努力の積み重ねの集大成です。成功とは、一瞬で手に入るものではなく、見えない時間をどう過ごしてきたかによって形づくられるものだということを、改めて感じさせられました。

生徒の皆さんの中には、努力がすぐに結果として表れず、不安を感じる人もいます。もし自分も。しかし、日々の授業や課題への取り組み、行事や部活動での経験は、確実に自分の力として積み重なっています。「たくろう」の漫才がそうであったように、その積み重ねは、ある時確かな形となって表れます。

学科主任として、生徒の皆さんには、結果だけに目を向けるのではなく、その過程を大切にしたいと願っています。自分の言葉で考え、相手の言葉に耳を傾け、挑戦を続ける。その姿勢こそが、これからの社会を生きていく上での大きな力となります。笑いの舞台で示された真理は、教室の中でも変わりません。努力は、必ず未来へとつながっていきます。

好きなものを好きだと言葉にし、相手に伝えようとする中で、人は考え、工夫し、対話を重ねます。生徒の皆さんも、自分の「推し」を大切にしたい。言葉のやり取りに絶妙な間の取り方。「たくろう」の漫才、一推し(イチオシ)です。

部活動の活躍

駅伝部

1月11日

第63回 南日本長距離走大会

〔高校・一般女子5000m〕

優勝 中島 純音(3E2 高尾野中)

第2位 小坂元くら(3F2 東谷山中)

第4位 佐多 菜奈美(2J1 松元中)

第5位 重森 瞳(3F2 宮之城)

第7位 久木田 華(1F3 東谷山中)

〔高校男子5000m〕

第7位 福岡和真(2J1 川内北中)

1月18日

第54回 鹿児島県職域駅伝競走大会

〔高校部門〕

準備勝

1区 福岡和真(2J1 川内北中)〔区間賞〕

2区 木下翔瑛(2J1 南中)

3区 宮原 大樹(2E2 附属中)

4区 小村匠(1J4 南指宿中)〔区間賞〕

5区 成田 光輝(1F6 西紫原中)

6区 吉原 優(1F1 帖佐中)

女子バスケットボール部

1月17日・20日

第56回 鹿児島県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技

第3位

優秀選手賞 松下 母(1F2 本渡中)

男子バスケットボール部

1月17日・20日

第56回 鹿児島県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技

第3位

優秀選手賞 児玉匠(2J4 鴨池中)

吹奏楽部

12月20日

第52回 鹿児島県吹奏楽

アンサンブルコンテスト

〔クラリネット五重奏〕

金賞 小濱 海理(3J4 垂水中央中)

平山 向日葵(2F3 坂元中)

山口 裕衣(1F1 東谷山中)

山口 陽菜(1F9 鹿屋東中)

清水 ひより(1F4 東谷山中)

音楽部

12月21日

第33回 鹿児島ヴォーカル・

アンサンブルコンテスト

アンサンブル大賞

〔小・中・高・大生一般を含めた総合1位〕

金賞 〔高校の部で1位〕

2年女声「狸鵲(かさぎ)」

徳重 優樹絆(2F1 喜人中)

達原 心春(2F2 伊敷台中)

切原くるみ(2F3 長田中)

今福 真子(2F4 吉野中)

田口 真有(2F4 吉野中)

馬場 杏奈(2F5 西紫原中)

浦門 玲奈(2F6 紫原中)

坂本 幸星(2F6 舞鶴中)

福島 菜央(2F6 天保山中)

前田 結愛(2F7 和田中)

児玉 胡桃(2E1 甲南中)

永田 和那(2E1 笠利中)

岩下 結衣(2E2 和田中)

三本 天例(2E2 吉野中)

中原 心菜(2J1 和田中)

※本成績により、2026年3月19日、

22日に福島市音楽堂で行われる第19回、

声楽アンサンブルコンテスト全国大会へ

の出場権を獲得しました。

金賞 〔高校の部で2位〕

1年女声「flurrie(フルリレ)」

井元 あり(1F3 西指宿中)

松元 あり(1F3 西紫原中)

小川 更紗(1F8 和田中)

實吉 陽菜乃(1F8 紫原中)

橋口 心乃(1F8 紫原中)

鎌田 花(1F9 西陵中)

園田 陽菜(1J2 清水中)

棚窪 真彩(1J2 武中)

田口 優奈(1J4 和田中)

尾辻 蘭(1J5 城西中)

清藤 美咲(1J5 和田中)

床次 紗雪(1J5 和田中)

1・2・3年男声「奏鳴(ソナタ)」

中村 雄史郎(1F4 清水中)

有川 智貴(1E2 和田中)

川越 陽貴(2F4 東谷山中)

三原 千吉(2F5 甲東中)

宮崎 俊弥(2F6 坂元中)

森永 翼羽(3F2 長田中)

勝岡 蒼凱(3F8 谷山中)

片野 泰(3E2 集人中)

検 定

2025年 第2回 実用英語技能検定

準一級合格

阿久根 瑛希(3E1 甲南中)

新小田 順也(3E1 南指宿中)

地福 心咲(3E2 天保山中)

平中 美結(3E2 吉野中)

池上 蓮人(3E2 天保山中)

今村 稀龍(2E2 山川中)

部活動の活躍 特別編

この冬、鹿高の3つの部が全国の舞台に挑みました。3年生として最後の戦いを終えた各部のキャプテンに、今の思いを語ってもらいました。

【女子バスケットボール部】

Soft Bank ウインターカップ2025

インターハイで悔しい思いをしてから、ウインターカップは1回戦を突破し、全国王者の桜花学園と対戦することが私たちの目標でした。1回戦敗退という結果になってしまいましたが、この3年間自分たちがやってきたことに間違いはなかったと思います。多くの方々の支えをもらい、出場できたウインターカップなので、ありがとうという感謝の気持ちでいっぱいです。後輩のみなさん、たくさんプレッシャーもあると思うけど、自分たちらしく、常勝鹿高として愛され応援されるチームになってください。

夏冬の全国大会出場にあたり、たくさんの物販、寄付のご協力をいただき本当にありがとうございました。これからも女子バスケットボール部への応援をよろしくお願いします。

前田 きらりさん
(3J3 伊敷台中)

【駅伝部】

第37回 全国高等学校駅伝競走大会

全国の舞台は、普段の大会とは雰囲気、規模、声援など全く違い、都大路を走れる喜びを強く感じました。たくさんの声援をいただいて今回出場できたからこそ、走らせていただくことへの感謝の気持ちと、全国の強豪校と思うように勝負ができない厳しさを痛感する結果となりました。悔しさはありますが、どのような状況であっても全員が諦めず前を追い、笑顔で襷を繋ぐ鹿児島高校らしい駅伝をすることができたと思います。

今回の経験がまた、今後のチームの成長と飛躍に繋がるものだと思います。

今回出走した3年生4人が抜け、来年はまた新しいチームとなります。代が替わっても毎年力をつけた良いチームに成長できることが鹿児島高校駅伝部の良さであると思うので、後輩のみなさんには来年も3年連続出場、そして入賞を成し遂げてもらいたいです。

全国高校駅伝2年連続出場にあたり、たくさんの応援、ご支援ありがとうございました。

重森 瞳さん
(3F2 宮之城)

【フェンシング部】

第78回 全日本フェンシング選手権大会(団体戦)

全国大会は社会人チーム、大学生チームが多く出場する非常にレベルの高い試合でした。

日本代表の選手も出場しており、プレーや試合運びなど多くのことを見て学ぶことができました。結果としては1点差で敗れる悔しい試合となりましたが、自分たちの力が全国の舞台でも通用する部分があることを実感すると同時に、まだまだ足りない部分や課題も明確になりました。

後輩のみなさん、全国大会は、普段の大会では味わえない緊張感やレベルの高さを感じることができます。その中で自分のベストを出すために明確な目標を持ち、そこに対して日々努力を続けることが大切だと思います。

これまで応援してくださったみなさん、ありがとうございました。

上京田 澄麗さん
(3E2 谷山中)

朗報続々！

現役3年生、進路実現に大健闘！

新年を迎え、3年生の卒業が目前に迫りました。今年の3年生は、進路の実現に大健闘。就職試験では、学校推薦を受けた受験生全員が内定を受けました。これで17年連続の内定率100パーセントを記録しました。進学では、共通テスト前の1月15日の時点で、総合型入試・学校推薦型入試で国公立大学・短大への15名の合格者が出ました。今後の一般入試に大きくはみがつきそうです。



就職内定率17年連続
100パーセント！

【就職内定先】

独立行政法人 国立印刷局
トヨタ自動車株式会社
株式会社鹿児島銀行
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）
西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）
九州旅客鉄道株式会社（JR九州）
東京地下鉄株式会社（東京メトロ）
株式会社クラフティア
日本郵便株式会社
イオン九州株式会社
株式会社新日本科学
京セラ株式会社

その他

共通テストを前に
国公立大学・短大に15名合格！

【国公立大学・短期大学合格実績（1月15日現在）】

横浜国立大学 教育学部1名
横浜市立大学 国際商学部1名
九州大学 共創学部1名
北九州市立大学 法学部1名
長崎県立大学 経営学部1名
鹿児島大学 法学部1名
鹿児島大学 医学部・看護3名・理学療法1名
大分県立芸術短期大学 2名
鹿児島県立短期大学 3名

2月の行事予定

2月																												
28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	
卒業式（9時30分）／1・2年休校	グラウンド完成式（仮）／賞状授与式（卒業式予行・同窓会入会式）15時4限	40分×7限（学年末成績一次評価会）／本年度図書貸出最終日／卒業式設置	卒業式設置／国公立大学前期日程試験	40分×7限（職員会議）／駐輪場整理	天皇誕生日		振休（2月28日 卒業式午後分）		学年末試験④	学年末試験③	学年末試験②	学年末試験①（1・2年）			45分×7限（二者面談⑥）	45分×7限（二者面談⑤）／3年登校日	建国記念の日	45分×7限（二者面談④）／駐輪場整理	代議員会	月曜校時全校朝礼・身だしなみ検査／二者面談③クラスマッチ選手選出（LHR）	大学入試共通テスト模試（2年生）	入学相談会③／生徒休校 大学入試共通テスト模試（2年生）	45分×7限（二者面談②）17時～19時	45分×7限（二者面談①）／入学相談会①（17時～19時）	一般入試進路合格発表／空気検査	木曜授業／駐輪場整理	生徒登校／変則45分×6限（午前入試設置解除）／本校入学手続き開始（3月14日12時まで）	一般入試進路／全商業経済検定